

大阪環状トレイル（生駒山～高安山）

Kid 記

1. 山行日 6月22日（土） 快晴 暑い一日
2. メンバー：他4人 計5名
3. コース&タイム

近鉄生駒駅 8:20～宝山寺 8:50～生駒山山頂 9:40～暗峠 10:40～鳴川峠 11:05 鐘の鳴る展望台
11:40 昼食～十三峠 12:30～高安山 13:30～ケーブル上 13:45 恩智街道入り口（下山口） 14:25～近
鉄恩智駅 15:25～近鉄鶴橋 16:0 歩行時間 6時間、歩行距離 19.1Km

4. 感想

今回歩いたのは、大阪環状トレイルの一部である。前回昨年秋に、枚方交野～生駒山歩いており、その続きを歩いた。

このコースは、大阪府民の親しんでいる生駒山を中心としたハイキング道であり、この暑い時期でも、結構行き交う人は多かった。又道も整備されており歩きやすかった。でも地図で見るとアップダウンが多く、結構疲れるコースである。これも、梅雨の晴れ間の蒸し暑い中での山行であり仕方ないが稜線の涼しい風は心地よかった。

まず、生駒駅からの急な階段の参拝道は、時間は30分ながら、歩き始めからの登りであり、しんどかった。宝山寺で一服して、ここからは、登山道を約1時間のぼり、やっと頂上の生駒遊園地に着いた。まだ10時前、開園前で、人は少なかった。これからの夏のシーズン、夏休みもあり、子供らでにぎあうのだろう。それに備え、遊具の新設、補修に忙しそうにしていた。

そこを過ぎると、関西各局のテレビの発信アンテナ塔が並んでいるところをやり過ごし、暗峠に下っていく。昨夜の雨で、道は滑りやすく、慎重に下っていく。ほどなく暗峠に着く。ここは、昔からの奈良と大阪を結ぶ街道の峠で、その石畳と茶屋の街並みは、往時を偲ばせる。そこから、緩やかなアップダウンが続き、右手を見ると眼下に大阪の街並みの展望が素晴らしい。

ここから、信貴生駒スカイラインと交差しながら南下していく。しばらく行くと鳴川峠、此処も、東大阪と奈良を結ぶ街道の峠だ。ここからも、ハイウエーと交差しながら進み、鐘の鳴る丘展望台に着く。まだ12時前であるがここで昼食とした。

休憩のあと、しばらく行くと、十三峠に出た。ここも由緒ある峠らしく、説明文によると奈良時代から、開かれていたとのこと。やはり、難波と奈良は古くから、往来があったのだ。そこから高安山までは、約3.3km1時間。高安山にも上ってみたが、展望はなかった。

そこを下りてしばらく行くと、ケーブルの山頂駅に着いた。これで今日のメインを終わり、駅で休憩を取る。このケーブル駅からは信貴山まで、バスが出ていた。

高安山～信貴山にかけて、信貴山公園墓地、高安山霊園と広大な墓地が広がっており、日本に帰

化された韓国、北朝鮮の出身者のお墓が多かった。どれも立派で、かれらの祖先を思う、祖国を思う気持ちの強さが偲ばれた。

しばらく墓地内を進むと、恩智街道に交差し、それに沿って下りて行った。この道は、よく整備されており、途中お年寄りが何人も登って来るのでびっくりした。確かに歩きやすい道だった。

街道を下り切ると、府営恩智神社があり、なかなか立派なものであった。又街並みの家もみな立派で、往時の繁栄を思う。そんなことを考えながら、しばらく行くと近鉄恩智駅に着いた。

今日の長い、暑い縦走は無事終わった。同行して頂いた皆さん暑い中お付き合い頂きありがとうございました。

以上

